

# 冊子体及び電子書籍の改訂に関してのご相談

2020年6月17日 9:41

## ■意見及び提案

- ・改版目的を再認識

METI サイバーセキュリティ経営ガイドライン2.0対応

IPA 情報セキュリティ対策ガイドライン第3版対応

IT及びサイバーセキュリティ最新トレンド対応

攻めのIT活用とサイバーセキュリティは、将来を見込んだものであり、今の中小企業経営者レベルでは、大きな改版なくとも使える

- ・単価が高い、単価が大幅に上がった理由

項目ごとの内容と単価が明記された単価証明書（社印のあるもの）

数千部しか印刷しない出版物とすると、1冊数千円の書籍になる

・想定以上に高い単価を変えられないのなら、単価見合いの工数を想定して、数量を精査し評価しなおす。

- ・Webその他用で素材として作ってもらいたいものを優先

- ・イベントに間に合うのか？間に合わないなら、仕切り直ししてもいいのでは。

- ・EPUB作成の積算根拠は？

リフローを想定したIndesignファイルを作成していれば、大きな作業工数はかからない

## ■選択肢

- ・予算内に収まるように内容を削るのではなく、やるべきことを予算内で。

- ・RISCONに間に合わないなら、仕切り直し（入札）3月末納品

- ・冊子体の改訂はせず、電子書籍リフロー版でAPPENDEXを作成

- ・最低限として、冊子体で、重要10項目と情報セキュリティ対策ガイドラインのみ更新、3月末

=====

## ■相談経緯

井芹さま ← 中山@元NDL

ご無沙汰してます。

如何お過ごしでしょうか。

先ほど、Messengerで送らせていただきましたが、メールアドレスが確認できたので、改めてメールを送らせていただきます。

早速ですが、ちょっとご相談です。

私は東京都の中小企業関係のセキュリティ対策関係の部署に非常勤で勤めています。

この部署では2016年に「中小企業向けサイバーセキュリティ対策の極意」という小冊子を作成し、20万冊、都内の中小企業に配布しました。

この冊子のPDFイメージは、下記にあります。

<https://cybersecurity-tokyo.jp/security/guidebook/>

発行から時間も経ち、参照している各種ガイドラインも変更になっているものもあり、改版する準備を進めています。

元は200ページ程度ですが、大幅な変更と新規で50ページ程度、項番の振り直しは相当ページを想定しています。

改版に当たって、版組の原本としてIndesign形式データ、部品としてPhotoShop、Illustrator形式データ、テキストファイルがあります。

このデータを使って、冊子体（印刷は別途）、Fix型電子書籍、リフロー型電子書籍の作成を外部委託したいと考えています。

加えて、このデータを使って、東京都職員の内作で、詳細版のWebページ作成（html版）の作成も想定しています。

現在、当初の作成業者に見積もりを取っているのですが、納得のいく作業の内容、価格が示されません。

御社でこの作業を請け負ったら、どのような作業でどのくらい掛かるか参考で見積もっていただけませんか？

当初の業者に発注することの妥当性がない場合は、入札も想定することになります。

お忙しいところ、急な相談ですが、ご助言いただければと思います。  
よろしくお願いします。

~~~~~

井芹さま ← 中山

おはようございます。

仕事も順調に行われているようで何よりです。

お忙しい中、返信をありがとうございます。

出版物に関して、出版販売と受託業務の違いに関して理解していなくて申し訳ありませんでした。

Indesign形式データが版組の原本になって、これを使ってPDF、EPUBを作ると思っていたのですが、Indesign形式データ作成費の倍の金額でPDF版、EPUB版それぞれを作成するという見積もりが来たので、作業工程と価格の妥当性に疑問を持ったところでした。

下川さんのところにも相談してみたいと思います。

大変お手数をお掛けしました。

今後ともよろしくお願いします。

~~~~~

下川さま ← 中山@元NDL

ご無沙汰してます。

公私ともにお世話になってます。

今回は仕事の関係で、質問させていただきたいと思います、

早速ですが、ちょっとご相談です。

私が非常勤で勤めてる東京都の中小企業向けサイバーセキュリティ対策の部署では、2017年に「中小企業向けサイバーセキュリティ対策の極意」という小冊子を作成し、20万冊、都内の中小企業に配布しました。

この冊子のPDFイメージは、下記にあります。

<https://cybersecurity-tokyo.jp/security/guidebook/>

発行から時間も経ち、参照している各種ガイドラインも変更になっているものもあり、改版する準備を進めています。

元は200ページ程度ですが、大幅な変更と新規で50ページ程度、項番の振り直しは相当ページを想定しています。

改版に当たって、版組の原本としてIndesign形式データ、部品としてPhotoShop、Illustrator形式データ、テキストファイルがあります。

このデータを使って、冊子体（印刷は別途）、PDF版（Fix型）、EPUB版（リフロー型）の電子書籍の作成を外部委託したいと考えています。

加えて、このデータを使って、東京都職員の内作で、詳細版のWebページ作成（html版）の作成も想定しています。

現在、当初の作成業者に見積もりを取っているのですが、

Indesign形式データが版組の原本になって、これを使ってPDF、EPUBを作ると思っていたのですが、Indesign形式データ作成費の倍の金額でPDF版、EPUB版それぞれを作成するという見積もりが来たので、作業工程と価格の妥当性に疑問を持ったところでした。

この見積もりが妥当なのか、参考意見を聞かせていただければと思っています。

当初の業者に発注することの妥当性がない場合は、入札も想定することになります。

そうなった場合の応札の可能性も聞かせていただければと思っています。

なお、この件に関しては、井芹さんに昨日メールで相談したのですが、インプレスR&Dさんは、受託業務はやらないとのことで、下川さんをご紹介いただきました。

お忙しいところ、急な相談ですが、ご助言いただければと思います。

よろしくお願いします。

冊子体及び電子書籍の改訂に関してのご相談

~~~~~

井芹さま ← 中山

早速の返信をありがとうございます。

当該受託業者が作成したIndesignデータですが、確かに切り貼りでした。機械的にリフロー版を作るのを試してみましたが、ガタガタでした。

固定EPUBもしくはPDFだけ外部に委託して、リフロー版は、それを素材として自分たちで作成したほうがいいのかもしれませんが。

だとすると、固定EPUBは、Indesignデータ作成の倍の費用ということはないですね。

受託の可能性は下川さんに聞いてみます。

いろいろ情報をありがとうございます。

今後ともよろしくお願いします。

~~~~~

## 冊子体及び電子書籍の改訂に関してのご相談

小林さん ← 中山

おつかれさまです。

とりあえず現時点の状況です。

インプレスR&Dの井芹社長さんに相談していましたが、インプレスR&Dは出版販売であり、受託業務は行っていないとのことでした。

ただ参考情報として、

~~~~~

InDesignは、論理構造がきれいに作られていれば、InDesignの機能でリフローEPUBが作れるはずです。

ただ、日本のほとんどのInDesignはきりばりで作られていることが多く、その場合は作り直しになる可能性もあります。

InDesignの作られ方によって見積りは大きく変わってくると思われます。

ちなみに、リフローを諦めて固定EPUBだけにすれば一気に安くなると思います。

~~~~~

確かに私が試しにリフロー版のEPUBを作ろうとしたとき、内容はガタガタになりました。

つまり、InDesignデータがあれば、固定フォーマットは安く作れるはずであり、Indesignデータの作成の倍の費用が掛かるのはおかしいことになります。

受託業務の可能性も含めて、イーストという会社の下川社長にも相談してみていますが、

~~~~~

凝ったレイアウトなので、例えばInDesign代が20万なら、リフローEPUB制作も10万円以上かかると思います。

EPUB≒HTMLなので、内作されるWebページからリフローEPUBを作る方が簡単です。

イーストはInDesign(DTP作業)を全くやっていないので、受託できません。

~~~~~

とのことでした。

ここでも、リフローEPUB制作がInDesignデータの倍の費用ということはないようです。  
ただ、改訂のDTP作業は、あまり美味しく見えないようです。。

とりあえず現時点の状況です。

~~~~~

下川さま ← 中山

早速の返信とご助言をありがとうございます。

確かに現在のIndesignデータは見た目の切り貼りで、リフロー版を作成するのは無理がある  
ようです。

内容はWebページで更新していき、ある時点で、冊子体、FIX版を作っていくのがいいのかも  
知れません。

この手の内容のイラスト、コピーライト原稿を作成して、冊子体の版下まで作成してして  
くれそうな事業者はどこかありますでしょうか？

大変参考になりました。

今後ともよろしくお願いします。

~~~~~

下川さん ← 中山

そうですね。デジタルファーストの時代ですよ。

もともと印刷物は作らないで、電子書籍のみだったはずなのですが、少しは必要と  
のこと  
で、イベント配布用に2～3千部程度。  
なので印刷業者さんにメリットはないのかなと。

Web版は詳細な内容でもいいのですが、冊子体は簡潔な内容にしたいので、セキュリティ  
に関してある程度知見があって、できるだけイラストで表現し、文章は最低限でわかりやす  
くリライトを委託できるところを探しています。

~~~~~

下川さま ← 中山

おはようございます。

昨日はありがとうございます。

昨日は休暇だったので出掛けていて、返信が遅れて申し訳ありません。

初版の発行は、デザイン、印刷、発送が全て別の会社だったので、  
今回も改版のデザインには、印刷部数は関係ないと思っていました。

前回の印刷業者は、中小でした。

初版発行のデザインより高い金額の見積もりが出されたので、委託会社の見直しも検討したいとのことで、色々お聞きしていました。

印刷用の版組でしか使えないIndesignデータをベースに、FIX型PDF、リフロー型EPUBを作るという考え方は変えたほうがいいのかも知れません。

色々と情報をありがとうございます。

今後とも、公私ともによろしくお願いします。

~~~~~

井芹さま ← 中山

おはようございます。

大変勉強になりました。

下川さんのところはIndesign（DTP作業）をやっていないので受託はできないとのことでした。

電子書籍の業界では、Indesignはあまり使われていないのですかね。。

都の担当職員にも状況を伝えました。

色々とありがとうございました。

また、いつの機会かでお会いできるのを楽しみにしています。